

平成19年度中間決算概要(単体情報)

経営成績



損益につきましては、預金の大幅な増加を受け貸出金及び有価証券の残高の増加や、運用利回りの上昇により、資金利益が大きく増加したことが寄与し、本業の儲けを示すコア業務純益は前中間期比6億76百万円増加し140億11百万円となりました。また、経常利益は12億44百万円増加し127億36百万円、中間純利益は4億9百万円増加し71億78百万円となり、コア業務純益、経常利益、中間純利益とも中間期における過去最高益となりました。

主な経営指標の推移は以下の通りです。

◎主な経営指標の推移

(単位：百万円・千株・人・%)

	平成17年9月期	平成18年3月期	平成18年9月期	平成19年3月期	平成19年9月期
経常収益	35,062	68,060	35,226	69,693	37,447
業務純益	11,635	25,629	11,568	25,037	12,899
コア業務純益	12,553	26,112	13,334	27,445	14,011
経常利益	8,563	21,999	11,492	23,631	12,736
中間純利益	4,825	—	6,769	—	7,178
当期純利益	—	12,691	—	13,880	—
資本金	49,759	49,759	49,759	49,759	49,759
発行済株式総数	290,855	290,855	290,855	290,855	290,855
純資産額	147,557	150,436	159,321	166,821	169,621
総資産額	2,906,471	2,923,422	2,928,308	2,973,549	3,050,683
預金残高	2,675,761	2,667,700	2,696,342	2,730,394	2,817,221
貸出金残高	1,929,318	1,956,242	1,961,676	1,994,569	2,025,486
有価証券残高	775,903	802,626	793,114	801,232	822,079
単体自己資本比率(国内基準)*	10.66	11.06	11.44	10.94	11.19
従業員数	1,906	1,838	1,883	1,811	1,885

*単体自己資本比率は、平成18年9月期までは旧基準により算出しております。

(単位：円・%)

	平成17年9月期	平成18年3月期	平成18年9月期	平成19年3月期	平成19年9月期
一株当たり純資産額	509.11	518.65	549.41	575.45	585.25
一株当たり配当額	3.00	6.50	3.50	7.50	4.00
一株当たり中間(当期)純利益	16.66	43.56	23.34	47.87	24.76
配当性向	18.00	14.92	14.99	15.66	16.15

●利益配分について

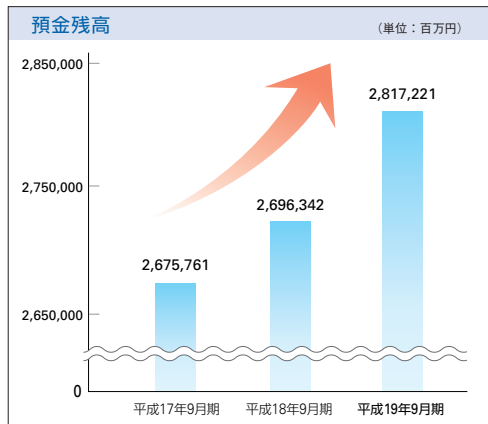
当行は、銀行業としての公共性に鑑み、お客様や地域社会の信頼にお応えするために、健全経営と内部留保の充実に努めますとともに、ステークホルダーへの適切な配分を行うことを基本方針としております。

平成19年9月期の配当金については、1株当たり4円とさせていただきます。これは平成18年9月期の中間配当金3円50銭と比較し、50銭の増配となります。

内部留保資金につきましては、積極的な店舗投資やIT投資を継続して行い、お客様へのサービス向上を図るとともに、経営基盤の拡充や経営体質の強化のため有効に活用してまいりたいと考えております。

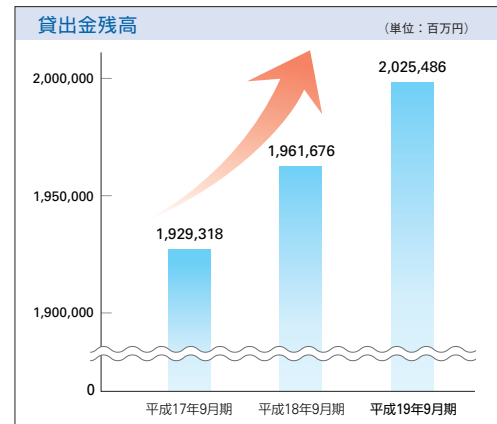
事業の概況

● 預金について



積極的な店舗リニューアルがお客様よりご支持をいただいております。預金残高は前期末比868億円増加し2兆8,172億円となりました。このうち、個人預金は597億円増加し2兆3,437億円となり、総預金に占める個人預金の割合も83.1%と高い水準となっております。また、個人向け国債や投資信託、個人年金保険等の金融商品販売も好調であり、個人預かり資産残高は前期末比330億円増加し4,179億円となりました。

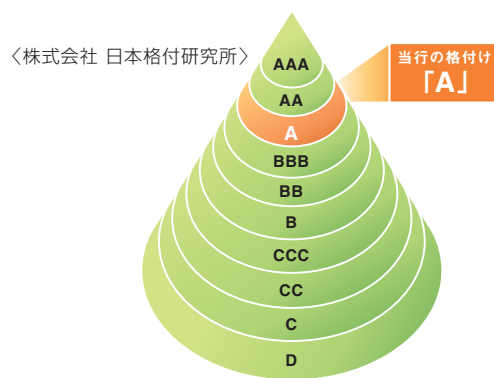
● 貸出金について



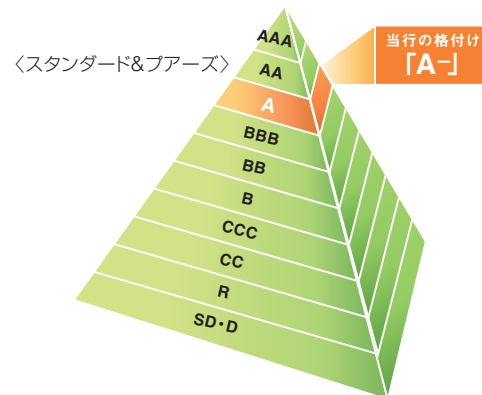
住宅ローンを始めとする個人ローンを積極的に推進し、同時に新規法人開拓推進による事業性貸出の増強及び中小企業向け無担保ローンの積極的な推進に取り組んだ結果、貸出金残高は前期末比309億円増加し2兆254億円となりました。

● 格付け機関による当行の評価

株式会社 日本格付研究所 (長期優先債務格付け) の格付けは、「A」です。世界三大格付け会社のスタンダード&プアーズ (長期カウンターパーティ格付け) の格付けは、「A-」です。



AAからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、「+」もしくは「-」の符号による区分があります。



AAからCCCまでの格付けは「+」記号または「-」記号を付加することがあり、それぞれ、各カテゴリ内での相対的強さを表します。

(平成19年9月30日現在)

用語解説

格付け

株式会社日本格付研究所やスタンダード&プアーズなど、第三者の格付け機関が、銀行や企業の「安全度」をアルファベットを使って表したものです。銀行の選定や企業へ投資をする時の参考指標の一つとされることがあります。

長期優先債務格付け

長期優先債務 (債務の弁済順位において他の一般債務よりも劣後しない長期の期限付き債務) の履行の確実性について、現時点での評価を示すものです。

長期カウンターパーティ格付け

長期カウンターパーティ格付けは、発行体格付け (債務者が債務を履行する総合的な能力 (信用度) について、現時点での評価を示すもの) の一部。長期の信用度を表します。

第13次中期経営計画について

地域経済の活性化を通じた地域との共存・共栄を、地域金融機関としての最大の使命と考え、お客様の視点に立った安全性と利便性の更なる追求を目指して、第13次中期経営計画を策定しました。

第13次中期経営計画では、次なるテクノロジーの進歩に合わせて大胆に改革を推し進め、働きがいのある、活力あふれる銀行づくりを目指していきます。

名称

第13次中期経営計画 ACTION PLAN 2009 ～地域のお客様との共存のためのベストプラン～

期間

平成19年4月1日～平成21年3月31日 2年間

目指す銀行像

お客様に信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行

目標とする経営指標

項目	内容	平成21年3月期
コア業務純益	業務純益－一般貸倒引当金繰入額－債券5勘定戻	290億円
当期純利益		150億円
ROE(資本利益率)	当期純利益／純資産※(平均) ※その他有価証券評価差額金を除く	9%程度
自己資本Tier I比率	自己資本比率の基本的項目	11%程度
不良債権比率	金融再生法基準による開示債権額／総与信	2%台

お客様、株主からの厚い信頼の獲得、地域社会への貢献と従業員満足度の向上

- ① お客様の安全性と利便性の追求
- ② 地域のお客様の声を活かした経営の実践
- ③ プロフェッショナルな人材の育成と活力ある職場の実現

地域の活性化に向けた取組み

- ① お取引先の持続可能な成長支援への取組みの充実
- ② 外部機関との連携を通じた中小企業向け金融の円滑化
- ③ 個人のお客様に対するライフ・サポートへの取組み

● 目指す銀行像 ●

**お客様に信頼と利便性、
高い満足度を提供する
魅力のある、活力あふれる銀行**

経営管理体制の強化

- ① コーポレート・ガバナンスの強化
- ② 内部統制の高度化
- ③ 統合的なリスク管理体制の整備

収益力の強化

- ① ITの戦略的活用
- ② マーケティング力の強化
- ③ 戦略的収益管理体制の構築

地域密着型金融の推進に向けた数値目標

第13次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2009」(平成19年4月～21年3月)では、収益性や資産の安全性に係る5項目の経営指標を掲げておりますが、地域密着型金融を推進するために今回新たに数値目標を15項目加えることといたしました。

項 目	平成19年4月～21年3月	
① 創業・新事業支援融資実績	200件	
② ビジネスマッチング情報の提供	400先	
③ 経営改善支援取組み率(経営改善支援取組み先数/債務者数)	2%	
④ 再生計画策定率(再生計画策定先数/経営改善支援取組み先数)	20%	
⑤ ランクアップ率(ランクアップ先数/経営改善支援取組み先数)	10%	
⑥ 中小企業再生支援協議会への案件持込み	5先	
⑦ 整理回収機構への案件持込み	5先	
⑧ 担保・保証に過度に依存しないスコアリング融資の実行	500億円	
⑨ 事業承継セミナーの開催	4回	
	100人	
⑩ 住宅取得者相談会の開催	200回	
	1,000人	
⑪ 県内住宅開発案件の獲得	110件	
⑫ 住宅業者説明会の開催	190回	
	950人	
⑬ 資産運用フォローアップセミナーの開催(原則として、当行とお取引のあるお客様向けセミナー)	10回	
⑭ 年金相談会開催	平日相談会	1,440回
	休日相談会	100回
	休日セミナー	24回
⑮ 返済相談への取組み	900人	

なお、上記内容の詳細については、当行ホームページにおいて公表しています。

地域のベストバンクを目指して

●お客様の安全性と利便性に配慮した店舗戦略

お客様の安全性と利便性に配慮した「5つのコンセプト」に基づく店舗づくりに取り組んでおります。

【5つのコンセプト】

1 「先進技術で、大きな安心」を提供する
「指静脈認証システム」を利用した
全自動貸金庫



2 「より気持ちよく、より安心して」
ご利用いただけるATMコーナー



3 「気軽に、ゆっくり、ご相談」いただける、
個別ブースの相談コーナー



4 「どなたでも、どこでも、むりなく」
ご来店いただける、通路・トイレの
バリアフリー対応



5 「ひろびろ、ゆったり、安心」な
店舗前面の駐車場



● 新設店舗

平成19年10月15日(月)、当行では12年振りの新設店舗となる我孫子支店を出店しました。

支店名称	我孫子支店
所在地	我孫子市我孫子1丁目9番16号
電話番号	04-7186-5511
貸金庫 (指静脈認証システムを利用した全自動貸金庫)	総設置数 2,022箱 ※専用ブース3室と貸金庫室前に専用ラウンジスペースを設置(うち1室は車いすの方にもご利用いただけます)
ATM	4台 ※うち1台は目のご不自由な方に配慮した、電話機と同一のキー配置を施したハンドセット付ATM
駐車場台数	23台(含障害者用1台)



我孫子支店



貸金庫室



貸金庫室専用ラウンジスペース

地域のベストバンクを目指して

● 建替え、リニューアル店舗

平成19年4月に海浜幕張支店、7月に八日市場支店とさつきが丘支店、9月に矢切支店、10月に湖北台支店をリニューアルオープンしました。また、11月には木更津支店を新築移転しました。



木更津支店



湖北台支店

● 今後の予定

平成20年春頃に「流山おおたかの森支店」、平成20年秋頃に「柏の葉キャンパス支店」（いずれも仮称）を出店する予定です。

どの店舗も5つのコンセプトに基づいた「お客様に便利でやさしいお店づくり」をテーマに最新の設備の店舗を予定しています。



流山おおたかの森支店 完成予想図



柏の葉キャンパス支店 完成予想図

●貸金庫設備について

お客様のセキュリティに対する関心の高さにお応えするため、平成19年度上期は貸金庫を海浜幕張支店(713箱)、八日市場支店(342箱)で増設しました。

貸金庫における、より高度な安全性をご提供するため、指静脈を認識してご本人の確認を行う「指静脈認証システム」の導入を拡大し、平成19年9月末現在、14店舗で導入しております。

県内金融機関では先駆的な実施であり、今後も対象店舗を順次拡大していく予定です。

※指静脈認証システム全自動貸金庫については、相続人へのなりすまし防止、金庫内での事故防止など高齢者の方にも安心してご利用いただくことを目的としています。

指静脈認証システム全自動貸金庫のご利用時間

毎日8:00～21:00(入室は20:40迄)

土・日・祝日もご利用いただけます。(※元日は除きます)

上記ご利用時間内は何度でもご利用いただけます。

(全自動貸金庫を指静脈認証方式でご利用いただいている方に限ります)

全自動貸金庫のご利用方法



①入室チェック
専用カードにより、入室チェックを行います。



②ご本人確認
指静脈認証または専用カードと暗証番号入力によりご本人確認を行います。



③貸金庫利用
貸金庫ボックスが現れたら、ボックスの鍵をあけて利用します。
※座ったままご利用いただけます。



④返却
案内パネル表示にしたがって、返却ボタンを押します。

●相続・事業承継への取り組みについて

高齢化社会の進展により、次世代へのスムーズな財産の承継が多くのお客様のニーズとしてクローズアップされてきています。

当行では、平成18年1月に信託代理店として相続関連業務に参入して以来、一貫して地域のお客様のニーズや時代の要請にお応えできるように、当業務に力を入れてまいりました。

この間、県内各地で相続と遺言に関する講演会を開催し、500名以上のお客様のご参加をいただいております。

また、日本経済の発展の原動力となってきた中小企業オーナーの皆様のための事業承継に関する講演会も平成19年上期より開始いたしました。事業承継については、専門的かつ高度な相談ニーズに対応できるようコンサルティング会社への紹介業務も開始いたしました。

今後も、地域金融機関として、お客様のニーズに応じたサービス提供に努めてまいります。

▶これまでに開催した「相続と遺言」・「事業承継」に関する講演会

相続と遺言 千葉[5回]、船橋[4回]、柏[3回]、市川・五井・成田・浦安・木更津・松戸・野田[各1回]
事業承継 千葉[2回]

●年金相談会の開催について

専門の社会保険労務士による個別年金相談会を開催し、複雑な年金制度の説明や年金請求手続きのお手伝いをしています。平成19年度上期には、県内各営業店にて383回開催しました。

また仕事等の理由で平日の年金相談会にご参加いただけない方のために、休日に当行ローンプラザや一部の営業店ならびにデパート等において個別年金相談会を54回開催し、さらに県内公共施設にて休日年金セミナーを6回開催しました。

相談会・セミナーともに、当行とお取引のない方にもお気軽にご参加いただいています。

年金相談会へのご参加等のお問い合わせはお近くの営業店もしくは、

京葉銀行ダイレクトサービスセンター ☎ **0120-46-0852**
受付時間 9:00～17:00 ただし土・日・祝日は除く

までお気軽にご連絡ください。

▶〈年金相談会・セミナーの主な内容〉

- 受給資格の有無
- 各制度(厚生年金・国民年金・共済年金)の基本的説明
- 繰上げ・繰下げ制度
- 年金見込額の算出(概算)
- 在職老齢年金について
- 退職後の医療保険
- 遺族年金について
- 雇用保険の受給について(基本手当、高齢雇用継続給付金)
- 年金改正関係
- 年金手続き関係(裁定請求書作成のお手伝い、添付書類の説明)
- 受給後の手続き
- 年金受給問題等

●女性専用住宅ローン取扱開始

平成19年5月16日より、昨今の女性の経済的自立とライフスタイルの変化などに伴う独身女性のマンション取得ニーズの高まりを背景に、女性専用住宅ローン『 α Ready(アルファレディ)』の取り扱いを開始しました。



●エコ応援ローン取扱開始

平成19年10月1日より、地球温暖化など環境問題に関心の高いお客様を応援するべく、環境への配慮を目的としたローン商品を拡充しました。

1. エコ住宅ローン
2. エコマイカーローン

